
「十和田市の将来を考える」 市民ワークショップ 検討結果のまとめ

<目 次>

1. 市民ワークショップの概要	1
2. 各グループの検討結果	2
(1) しごと（雇用創出）	2
(2) まちづくり（移住・定住促進）	4
(3) くらし（少子化対策、教育・福祉）	5
(4) しみん（地域づくり、市民活動）	7
3. まとめ	9
(1) 市の強み・弱み	9
(2) 具体的な取組	11

平成27年11月
十 和 田 市

1 市民ワークショップの概要

(1) 市民ワークショップ開催の目的

市民の意見を反映させたまちづくりを進めるため、それぞれのグループの検討テーマに沿った市の強み・弱みの洗い出しや、強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組等を検討し、現在、市が検討中の「十和田市まち・ひと・しごと総合戦略（平成 27 年度策定）」及び「第 2 次十和田市総合計画（平成 28 年度策定）」を策定するための重要な基礎資料の 1 つとして活用することを目的とするものです。



(2) 市民ワークショップ開催日時・場所・参加者数

①開催日時

平成 27 年 11 月 14 日（土）、午後 2 時～4 時 30 分

②開催場所

市民交流プラザ「トワーレ」

③参加者数

市民 28 人、事務局（政策財政課）9 人、（株）富士通総研（各グループの検討進行）4 人

④グループ構成

しごと（雇用創出）、まちづくり（移住・定住促進）、暮らし（少子化対策、教育・福祉）、しみん（地域づくり、市民活動）

(3) 市民ワークショップのプログラム

時間割	内容
14 時	1 開会
14 時 ～14 時 20 分	2 十和田市総合計画策定市民委員会 副委員長あいさつ 3 市民ワークショップの概要説明 (1) ワークショップ開催の趣旨 (2) 十和田市まち・ひと・しごと総合戦略、第 2 次十和田市総合計画の位置づけ及びこれまでの検討経過 (3) グループ別ワーキングのテーマと進め方
14 時 20 分 ～16 時	4 グループ別ワーキング (1) 各グループの検討テーマに沿った強み・弱みの洗い出し (2) 強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組の検討
16 時 ～16 時 25 分	5 グループ別検討結果の発表
16 時 25 分 ～16 時 30 分	6 その他（今後のスケジュールについて報告）
16 時 30 分	7 閉会

2 市民ワークショップの検討結果

(1) しごと（雇用創出）グループ

(1 / 2)

検討テーマに沿った市の強み・弱み

<○：強み>

- 全国有数の観光地である十和田湖、奥入瀬溪流がある（⇒近年は外国人旅行者も増加）
- ご当地グルメの十和田バラ焼きが有名である
- 生産量日本一を誇るにんにくをはじめ、長いも、ねぎなどの野菜生産、畜産が盛んである
- 北里大学獣医学部があり、地域との連携が期待できる
- 災害が少なく安全・安心な生活環境である
- 市民によるまちづくり活動が活発に行われている
- B-1 グランプリなど、お金をかけない町おこし、地元PRの取り組み実績がある

<△：弱み>

- △雇用が不足しており、進学などで市外に出た若者が戻ってこられない
- △食事をする場所が少ないなど、観光客の満足度が低く、リピートにつながらない
- △外国人旅行者や団体旅行者の受け皿がない（⇒取りこぼしが発生している）
- △情報発信のチャンネルが少ない、継続した情報発信ができていない
- △地域資源（農産物、アートなど）はあるが、単体での競争力が弱い

強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組

【取組方針】

- ◆まずは市内を元気にする（若者の雇用創出＋リタイアした高齢者の活用）
- ◆民間・市民で出来ること、行政の支援が必要なことの住み分けをした上で、連携する
- ◆効果のある取組を見定め、メリハリのある計画をたてる

【既存産業の活性化】

- ◆既存の地域産業を連携させる仕組みを作ることで、個々の産業を活性化させるとともに、新たな雇用を創出する
 - ・農産物の生産～加工～販売・飲食店での提供、プロモーションを一貫して行う仕組みをつくることで、競争力を高める
 - ・地元野菜や畜産物で作った料理を提供する飲食店をつくることで、雇用の場を創出するとともに、観光客の不満足ポイント（食事をする場所が少ない）の解消につなげる
 - ・生産者、食品加工者、販売者などをつなぐ役割（＝仕事）をつくる
- ◆「畜産のまち」のように中心とする産業を決めて重点的に取り組む
 - ・まずは何か1つを核として活性化させ、徐々に関連産業へと効果を波及させていく
- ◆地域産業や特産品のPRを行政と連携して行う
 - ・行政がバックアップすることで、売り込み先に安心感をもってもらう

強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組**【市民活動の事業化】**

- ◆まちづくり会社や行政の支援を活用し、現在ボランティアで行っているまちづくり活動を事業化することで、新たな雇用を創出する

【継続的な起業支援】

- ◆起業したい若者をターゲットとした支援体制を整備する
 - ・成功する事業ができるまでには、起業の「数」が必要なため、民間と行政が連携して、継続的な支援を行える体制とする

【外国人旅行者をターゲットとした観光ビジネス】

- ◆外国人旅行者向けの観光プロモーション、情報発信、旅行ガイド、外国語案内の整備などを一括して行う企業を立ち上げ、若者を中心に雇用する

(2) まちづくり（移住・定住促進）グループ

検討テーマに沿った市の強み・弱み

<○：強み>

- 水や空気がおいしく、自然環境が豊かである
- 芸術拠点（十和田市現代美術館など）があり、アートの充実に向けた取組が展開されている
- お祭りやイベントが毎週のように開催されており、自主的なコミュニティ活動が盛んである
- 農業の魅力が大きい（安心・安全な農産物、にんにく・長いも・畜産など）
- 北里大学が立地し、学生と地域が連携した取組が展開されている
- セーフコミュニティの存在（安全や健康の権利を守るための取組が展開されている）

<△：弱み>

- △仕事・働く場が不足しており、学生にとっては就職活動が難しい環境である
- △買い物の利便性が十分でなく、商店街の活気も不足している
- △交通の便が悪く、自動車無しに移動するのが難しい
- △光回線が開通していないエリアがあるなど、生活環境の整備が十分に進んでいない
- △多くのコミュニティ活動・地域づくりの取組が行われている一方で、取組みごとの結びつきは弱い（取組の企画・運営や情報発信がばらばらに行われている）
- △農業者の高齢化が進んでおり、農地の流動化も十分でない（農地の貸し借りが停滞している）
- △大学と地域との密接な関係が築けていない

強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組

【移住・定住の促進に向けた前提となる取組】

- ◆多様なコミュニティ活動に対するサポートを強化し、活動の主体となる人たちが相互に連携できる環境を整備する
- ◆市民が地域とつながりを持つ機会を提供し、市民の地域に対する愛着（シビックプライド）を育て、多様なコミュニティ活動に対する支援の輪を広げる
- ◆市や周辺地域のイベント情報などを一元的に発信するとともに、統一的なデザインや多様なメディアを通じた情報発信によって訴求力を高める
- ◆移住・定住希望者を受け入れるための生活環境の整備を進める

【十和田市民や十和田市にゆかりのある人たちを呼び込むための取組】

- ◆子どもたちが小さな頃から市のイベントに参加し、地域とつながりを持つ機会を提供する（市への愛着を育て、市を離れることがあっても、再び戻ってきてもらうことを目指す）
- ◆市にゆかりのある人たちに市の取組や魅力を伝える
- ◆市への移住・定住を希望する人たちへ、お試し居住や体験就業の機会を提供する

【農業を活かした移住・定住促進の取組み】

- ◆長期的な視野で畜産などの分野での就農希望者を支援する
（生活面、技術面、施設・機材などの費用面のサポートを継続的に行う）

【大学生の十和田市への定着に向けた取組み】

- ◆周辺地域と連携しながら、地域の大学で学ぶ学生と地元企業とのマッチングを行う

【安心・安全な暮らしを強みとした移住・定住促進の取組み】

- ◆市民の安全や健康を守る取組みをアピールし、移住・定住の促進につなげる

検討テーマに沿った市の強み・弱み

<○：強み>

【結婚】

○市民ベースで婚活に関する取組がなされており、最近特に盛り上がりを見せている

【出産・子育て（主に未就学児童）】

○子育て支援グループの活動が盛んである

○市民プールの利用料が無料等、他の地域と比べ子育てをしやすい環境がある

○待機児童問題がない

【子育て（主に小学校以降）】

○仲よし会（学童保育）、夏休み寺子屋など、子どもたちが安心して遊べる場がある

○スポーツ少年団（主に小学生が対象）などの活動が盛んである

【教育・福祉全般】

○雪が少なく自然が豊か、全般的に住みやすい環境

○上十三地域の中心市であり、交通の便が良い

<△：弱み>

【結婚】

△男性が控えめ？（女性の未婚率が低く、男性の未婚率が高い）

【出産・子育て（主に未就学児童）】

△分娩施設が少ない

△産後すぐの支援（サービス）が少ない（もっとあればよい）

△子どもの医療費の負担が大きい（他市町村では無料のところもあるが）

△病児・病後児保育サービスが少ない

【子育て（主に小学校以降）】

△放課後や夏休み（特に小学校高学年以降）に安心して遊べる場所が少ない（仲よし会などもあるが一番子どもを見て欲しいタイミングには対応していない）

△他市と比べ部活動が盛んだが、教員の負担も大きい

△昔と比べスポーツに触れる機会が減っている

【教育・福祉全般】

△交通手段（特に高齢者の）が無い・公共交通機関の利便性も低い

△（十和田市に限らず言えることだが）社会が進化・発展し色々なことが良くなった一方、それによってある意味での大らかさがなくなり、窮屈さや締め付け感が強くなったのではないか

強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組

【結婚】

◆男女の出会いの機会を増やす（特に所属業種を明らかにしての交流なども有効と思われる）

◆婚活イベントの運営体制側のサポート（現在はボランティアのため、その負担軽減）

◆独身者がどこに何人いるか等の行政が持っているデータを活用した婚活の取組（マーケティング）

強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組**【出産・子育て（主に未就学児童）】**

- ◆妊娠中・出産後すぐの妊産婦に対する支援の充実（特に初産の方への）
- ◆経産婦さんの話を聞く機会をつくる
- ◆ちょっとした（病院等に電話をするまでもない）相談や不安に思っていることについて話をできる人・環境をつくる
- ◆病児・病後児保育サービスの充実

【子育て（主に小学校以降）】

- ◆夏休み寺子屋のような取組（現在市内2箇所）を地域に広く展開する
- ◆プレパークのような子どもが遊び回れる場所・環境をつくる
- ◆スポーツに触れる機会を増やす

【教育・福祉全般】

- ◆公共交通機関をより充実させる
- ◆住みやすさ・子育てのしやすさをよりPR・情報発信する

検討テーマに沿った市の強み・弱み

<○：強み>

【恵まれた自然環境】

- 自然の豊かさ
- 水路の清流など水資源の豊かさ
- 八甲田などの自然景観
- 豊富な農産物
- 農業を営む環境に恵まれている
- 自然災害や積雪の少なさ

【多彩な観光資源】

- 十和田湖、奥入瀬溪流、官庁街通り、アートの街、焼山などの観光資源
- 市外からの来街者の増加

【まちづくりに関わる人材や組織】

- 子どもから大人まで、まちづくりに関わる組織がしっかりとしている
- 市を良くしたいと頑張っている人たち
- お年寄りによる活発な生涯学習活動
- 北里大学の立地により若い学生がいる

【その他】

- 犯罪や事故の少なさ
- 介護関連施設の多さ

<△：弱み>

【人に関する弱み】

- △子どもが少なく、お年寄りが多い
- △地域のまちづくりをけん引するリーダーの不足
- △農業の後継者不足

【モノに関する弱み】

- △中心市街地における空き店舗の多さ
- △交通手段やバスの利用者の少なさ

【その他】

- △全国一の生産量を誇るニンニクなどがある一方、これらの地域資源の対外的な宣伝力が弱い
- △介護保険料の高さ

強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組

【高齢者対策】

- ◆中心市街地の空き店舗を健康づくりの場として活用
- ◆小・中学校の余裕教室を子どもとお年寄りの交流の場として活用（お年寄りの生きがいづくり）
- ◆ボランティアとしてお年寄りの力を活用
- ◆お年寄りが歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり

強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組**【高齢者対策】**

- ◆市街地内をネットワークする交通手段の確保
- ◆税制面から元気なお年寄りを優遇する措置の導入

【産業振興】

- ◆野菜を中心とした地元農産物の販路拡大
- ◆市外から新規就農者を受け入れるための支援体制の強化
- ◆市外の小・中・高校生をターゲットとしたグリーンツーリズムの普及定着

【回遊性の向上】

- ◆桜並木の植栽により良好な景観を形成し、そこに馬車を走らせる
- ◆空き店舗のシャッターをキャンバスとして利用するなど、空き店舗対策に若者の力を活かす
- ◆空き店舗を地域交流の場として有効活用

【その他】

- ◆まちづくりをけん引するリーダーやコーディネーターを育成するための仕組みづくり
- ◆市内で結婚を希望する人たちへの空き家の斡旋、空き家情報の集約化

3 まとめ

各グループで検討した「市の強み・弱み」、「強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組」をそれぞれ分野ごとに整理します。

(1) 市の強み・弱み

分野	<強み>	<弱み>
産業振興	<p>【農林水産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○恵まれた営農環境 ○安心・安全で豊富な農産物（にんにく・長いもなど） ○畜産が盛ん <p>【観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○十和田湖、奥入瀬溪流、官庁街通り、アートの街、焼山などの観光資源 ○外国人観光客を含む、市外からの来街者の増加 ○ご当地グルメとして認知度の高い十和田バラ焼き ○B-1グランプリなど、お金をかけない町おこし、地元PRの取り組み実績 	<p>【雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> △仕事・働く場の不足 △学生の就職活動が困難 <p>【農林水産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> △農業者の高齢化、後継者不足 △農地の流動化が不十分(農地の貸し借りが停滞) <p>【観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> △観光客の満足度が低く、リピートされない △外国人旅行者や団体旅行者の受け皿不足 △地域資源の対外的な宣伝力が弱い △情報発信のチャンネルが少なく、継続した情報発信ができていない <p>【商業・サービス業】</p> <ul style="list-style-type: none"> △買い物の利便性が不十分で、商店街の活気も不足 △中心市街地に空き店舗が多い
子育て・教育	<p>【結婚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民ベースで婚活に関する取組がなされており、最近特に盛り上がりを見せている <p>【子育て支援・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援グループの活動が盛ん ○市民プールの利用料が無料等、他の地域と比べ子育てをしやすい環境 ○待機児童問題がない ○仲よし会（学童保育）、夏休み寺子屋など、子どもたちが安心して遊べる場 ○スポーツ少年団などの活動が盛ん 	<p>【結婚】</p> <ul style="list-style-type: none"> △結婚に対して男性が控えめ（男性の未婚率が高い） <p>【出産】</p> <ul style="list-style-type: none"> △分娩施設が少ない △産後すぐの支援（サービス）が少ない <p>【子育て支援・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> △子どもの医療費の負担が大きい △病児・病後児保育サービスが少ない △放課後や夏休み（特に小学校高学年以降）に安心して遊べる場所が少ない（既存の場では、一番子どもを見て欲しいタイミングに非対応） <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> △他市と比べ部活動が盛んだが、教員の負担が大きい
福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"> ○介護関連施設が多い 	<ul style="list-style-type: none"> △介護保険料が高い

分野	<強み>	<弱み>
化 生 ・ 涯 ス 学 ポ 習 ー ツ ・ 文	<ul style="list-style-type: none"> ○芸術拠点(十和田市現代美術館など)があり、アートの充実に向けた取組が展開されている ○お年寄りによる活発な生涯学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> △スポーツに触れる機会の減少
安 全 ・ 安 心 ／ コ ミ ュ ニ テ ィ	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害や積雪が少ない安全・安心な生活環境 ○犯罪や事故が少ない ○セーフコミュニティ(安全や健康の権利を守るための取組展開) <p>【コミュニティ、まちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民によるまちづくり活動が活発(お祭り、イベントなど)、組織がしっかりしている ○北里大学の学生と地域が連携した取組が展開されている 	<p>【コミュニティ、まちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> △多くのコミュニティ活動・地域づくりの取組が行われている一方で、取組みごとの結びつきは弱い(取組の企画・運営や情報発信がばらばらに行われている) △地域のまちづくりをけん引するリーダーの不足 △大学と地域との密接な関係が築けていない △社会が進化・発展し色々なことが良くなった一方、それによってある意味での大らかさがなくなり、窮屈さや締め付け感が強くなった △子どもが少なく、お年寄りが多い
環 境	<ul style="list-style-type: none"> ○水や空気がおいしい ○水路の清流など水資源 ○八甲田山などに自然景観が豊か 	
都 市 基 盤	<ul style="list-style-type: none"> ○上十三地域の中心市であり、交通の便が良い 	<ul style="list-style-type: none"> △交通の便が悪く、自動車無しに移動するのが難しい △交通手段(特に高齢者の)が無い・公共交通機関の利便性も低い △光回線が開通していないエリアがあるなど、生活環境の整備が十分に進んでいない

(2) 強みをさらに強化し・弱みを克服するための具体的取組

分野	具体的取組
産業振興	<p>【既存産業の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆既存の地域産業を連携させる仕組みを作ることで、個々の産業を活性化させるとともに、新たな雇用を創出する ◆「畜産のまち」のように中心とする産業を決めて重点的に取り組む ◆地域産業や特産品のPRを行政と連携して行う ◆野菜を中心とした地元農産物の販路拡大 <p>【起業支援、新規就業支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆民間と行政が連携し、起業したい若者をターゲットとした継続的な支援体制を整備する ◆市外から新規就農者を受け入れるための支援体制の強化 ◆長期的な視野で畜産などの分野での就農希望者を支援する (生活面、技術面、施設・機材などの費用面のサポートを継続的に行う) ◆周辺地域と連携しながら、地域の大学で学ぶ学生と地元企業とのマッチングを行う <p>【観光ビジネスの強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆外国人旅行者向けの観光プロモーション、情報発信、旅行ガイド、外国語案内の整備などを一括して行う企業を立ち上げ、若者を中心に雇用する ◆市外の小・中・高校生をターゲットとしたグリーンツーリズムの普及定着
子育て・教育	<p>【結婚支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆男女の出会いの機会を増やす(所属業種を明らかにしての交流など) ◆婚活イベントの運営体制側のサポート(現在はほぼ完全にボランティアのため、その負担軽減) ◆独身者がどこに何人いるか等の行政が持っているデータを活用した婚活の取組(マーケティング) ◆市内で結婚を希望する人たちへの空き家の斡旋、空き家情報の集約化 <p>【出産・子育て支援(主に未就学児童)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆妊娠中・出産後すぐの妊産婦に対する支援の充実(特に初産の方向け) ◆経産婦さんの話を聞く機会をつくる ◆ちょっとした(病院等に電話をするまでもない)相談や不安に思っていることについて話をできる人・環境をつくる ◆病児・病後児保育サービスの充実 <p>【子育て支援(主に小学校以降)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆夏休み寺子屋のような取組(現在市内2箇所)を地域に広く展開する ◆プレパークのような子どもが遊び回れる場所・環境をつくる ◆スポーツに触れる機会を増やす

分野	具体的取組
健康・福祉	<p>【高齢者の健康・生きがいづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 中心市街地の空き店舗を健康づくりの場として活用 ◆ 小・中学校の余裕教室を子どもとお年寄りの交流の場として活用（お年寄りの生きがいづくり） ◆ ボランティアとしてお年寄りの力を活用 ◆ お年寄りが歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり ◆ 税制面から元気なお年寄りを優遇する措置の導入
安全・安心／コミュニティ	<p>【市民活動の支援・事業化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ まちづくり会社や行政の支援を活用し、現在ボランティアで行っているまちづくり活動を事業化することで、新たな雇用を創出する ◆ まちづくりをけん引するリーダーやコーディネーターを育成するための仕組みづくり ◆ 多様なコミュニティ活動に対するサポートを強化し、活動の主体となる人たちが相互に連携できる環境を整備する ◆ 市民が地域とつながりを持つ機会を提供し、市民の地域に対する愛着（シビックプライド）を育て、多様なコミュニティ活動に対する支援の輪を広げる ◆ 市や周辺地域のイベント情報などを一元的に発信するとともに、統一的なデザインや多様なメディアを通じた情報発信によって訴求力を高める <p>【移住・定住促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 移住・定住希望者を受け入れるための生活環境の整備を進める ◆ 住みやすさ・子育てのしやすさをよりPR・情報発信する ◆ 子どもたちが小さな頃から市のイベントに参加し、地域とつながりを持つ機会を提供する（市への愛着を育て、市を離れることがあっても、再び戻ってきてもらうことを目指す） ◆ 市にゆかりのある人たちに市の取組や魅力を伝える ◆ 市への移住・定住を希望する人たちへ、お試し居住や体験就業の機会を提供する ◆ 市民の安全や健康を守る取組みをアピールし、移住・定住の促進につなげる <p>【市街地の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 空き店舗のシャッターをキャンバスとして利用するなど、空き店舗対策に若者の力を活かす ◆ 空き店舗を地域交流の場として有効活用
環境	<p>【よりよい景観づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 桜並木の植栽により良好な景観を形成し、そこに馬車を走らせる
都市基盤	<p>【交通手段の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共交通機関をより充実させる ◆ 市街地内をネットワークする交通手段の確保